

《試験結果》

[少量危険物用専用箱]

※構造は仕様書及び図面通りです。

試験項目及び規格

(A) 積み重ね試験

A.1 試験荷重 (負荷時間は 24 時間)

供試品の上面に加える積み重ね試験荷重は、次の算式により求めた荷重とする。

$$W = (3-h) / h \times G$$

W : 試験荷重(kg)

h : 試験品の高さ (m)

G : 試験品の総質量 (kg)

A.2 漏れないこと。

組合せ容器の場合は、内装容器から漏れないこと。

A.3 運送の安全性に影響を及ぼすおそれのある変質、

積み重ねの安全性を損なうおそれのある変形がないこと。

※実荷重の計算

$$W = (3 - 0.325) / 0.325 \times 22 = 181.1 \text{ 以上}$$

実荷重 : 185 kg

開始時間 : 2015/05/25 10:00

終了時間 : 2015/05/26 10:30

漏れ : 有り・無し

変質・変形 : 有り・無し

少量危険物カートンMサイズ (例として) 試験報告書内の(A)積み重ね試験での数値の出し方について

航空危険物規則書より

2.7.6.2 積み重ね試験：輸送に供される各包装物は、同種の包装物をその供試包装物の上面3m（供試包装物の高さを含む）まで積み重ねた場合と同等の負荷を24時間加える。その結果、各内装容器に損傷、漏洩がなくかつ包装機能の有効性が著しく損なわれない事。

試験内容では3m以上の耐久性が必用で3mから一番下の箱の高さである0.325m（少量危険物カートンMサイズが325mmの外寸法の高さ）を引いた耐荷重が必用ですので左記の計算より181.1以上必用ですが実際には185kgでしたので181.1kg以上あるので合格数値になります。

$3m - 0.325m$ (Mサイズの外寸法の高さ)  $\div$   $0.325m$ (この時点で何ケース積みかさねたかの個数)  $\times$   $22kg$ (1箱の重量が22kg)=181.1kg(一番したの箱にかかる重量) (実際の荷重が185kg=181.1kg以上なので合格数値)



試験結果及び実測値

